



新校舎完成の好機に地域を挙げて創立八十周年記念式典を施行してはという声が高まり、昨年十一月二十一日に関係者多数の出席により記念式典が盛大に行なわれました。

南条小学校は、明治三十四年五月に三育尋常高等小学校(小川台・小田部・傍示戸・富下・虫生)と芝崎尋常小学校(芝崎・母子)が合併して発足した学校です。

また、午後の部では、児童・一般による当時の南条小学校の様子や演劇発表などが行なわれました。



南条小学校 創立80周年記念

書き損じた

はがきは

交換できます

あつ、いけない、住所を間違えた——年賀状を書き損じた経験は、どなたも一度はあることでしょう。

年賀状に限らず、官製はがきの場合、書き損じたものや多く印刷しすぎてしまったあいさつ状などは、郵便局に持っていきと、新しいはがきと取り換えてくれます。

交換手数料は、次のとおりです。

通常はがき 一枚五円

往復はがき 一枚十円

このほか「ミニ・レター」と呼ばれる郵便書簡一枚十円で交換していただけます。

ただし、はがき、郵便書簡とも、切手に相当する部分を汚したり、傷つけたりしたものは、交換できません。

文化財防火デー 一月二十六日

大切な文化財を

「火の手」から守ろう

歳時記

初もうで



「せっかくの初もうでだから、おさい銭は千円のもりだったが、大混雑でさい銭箱まで近づけず、お札を投げて届かないから、百円玉を高く投げてきた」とは、ある初もうで客の話。

昨年一月一日〜四日間の初もうで客は、全国で約七千万人と前年に比べて約四百六十万人も多く、史上最高を記録しました。

これは、国民十人のうち六人が初もうでをした勘定になります(警察庁調べ)。もっとも、このところ各地で七福神もうでに人気が出てきているので、一人で七か所回った人もいろいろありますが……。

初もうでは、正月にその年初めて神社やお寺に参詣することですが、昔は、恵方(えほう)まいるとか恵方もうでと言って、その年の「吉の方角」にある神社仏閣にお参りすることが多かったようです。

恵方とは、中国から伝わった十干十二支の思想に根ざすもので、その年の干支(えと)によ

って「吉の方」と決められた方角を言います。そこで、その方角から幸運がくる、つまり歳徳神(としとくじん)が訪れてくると信じられていました。こうしたことから、その年の「吉の方角」にある社寺にお参りして、その年の福徳を祈ったのです。

しかし、最近では、交通の便が優先し、とりわけ都会に住む人たちは、終夜運転をしている沿線の神社やお寺に人気があるようです。また、マイカーで出かけて、初日の出を拝んでから参詣するという人も増えているようです。

それはともかく、ことしも良い年でありませうに——。

